



順天堂練馬病院と地域を結ぶ

順天堂練馬病院ニュース

No.2

2006.2

5月フルオープン予定

**いよいよ5月にフル稼動!!
順天堂練馬病院が、
さらなる充実を!!**

外来受診の患者さまへのメッセージ

当院では、メンタルクリニックの外来を除いてほぼ全科の専門診療を毎日行っていますが、手術日や検査などで外来ができない場合がございます。常勤の医師総数78名、非常勤医師約100名、看護師数253名(2月1日現在)が皆様の健康を守るために、日夜忙しく働いております。毎日多くの外来患者さまを迎え、当初予想を相当数上回っているのが現状です。したがって、予約をとらないでお越しになられた患者さまの診療ができない場合があったり、外来での待ち時間が大変長い場合があったり、次回の予約がとり難い状況があります。当院は誠意を持って専門医療を遂行いたしますのでこの事を十分にご理解賜りますようお願い申し上げます。

入院を希望される患者さまへのメッセージ

ご存じのように順天堂練馬病院は地域医療の拠点として、救急医療、小児医療、災害医療、がん医療に重点を置いています。開院当初のベッド数は204床ですが、既に毎日がほとんど満床状態になっています。そこで今年に入り急遽253床に増床しましたが、それでも入院待ち状態が続いています。この状況を解消させるため、当初の計画では7月に400床フルオープンの予定でしたが、きたる5月にフルオープンにするよう計画を前倒しました。それまで地域医療の拠点として、みなさまの不時の突然の病気に対してすぐに入院治療ができますように配慮したいと思います。そこで、外来治療で可能と判断された患者さまにはできるだけご自宅で安静に過ごし外来で治療していただくのを原則としたいと思います。

順天堂練馬病院は、入院を絶対に必要とされる患者さまに、一日でも早くご入院していただく努力を行って参りますので皆様方のご理解、ご支援を何とぞよろしくお願い申し上げます。

順天堂練馬病院は、

- 患者さまお一人お一人のライフスタイルを大切に、できるだけ短期間の入院診療を目指します。
- かかりつけ医師の先生と協力して、退院後の治療を行います。
- かかりつけ医師のおられない患者さまには、ご要望に応じて信頼のできる近隣の先生をご紹介します。
- 退院後のご相談や外来受診は、医療福祉相談室で承ります。(フルオープン後には看護相談室でも承ります。)
- 退院後の急な治療は、昼間の外来や救急外来でいつでも拝見いたします。



順天堂練馬病院院長
佐藤 信紘

看護部



小澤 淳子 江越 万紀子 一番合戦 ひとみ 寺尾 さか江 伊東 佐和 中島 史子
三島 くみ子 塩田 千代子 小林 弘美 桑崎 綾子

私たち看護部は『不断前進』の精神のもと、2月1日現在253名の看護職員で24時間、患者さまに「心から満足していただける看護」を提供するために努力しております。

開院当初は、総合案内に長い列ができてお待たせしたり、電子カルテの操作に時間がかかったりと、ご迷惑をおかけしました。しかし、これらの二つを乗り越えていく過程で、私たち看護師は患者さまやご家族に育てられてまいりました。

今年5月には病床が(400床)フルオープン

し、外来に看護相談室も開設することができるようになりました。これからも不明な点は何でもお近くの看護師に尋ねて頂ける様「笑顔でやさしく！」を心がけていきます。

4月には新しい仲間も増え、更にパワーアップして皆様のご期待に応えるために力一杯がんばります。

医療福祉相談室

「医療費や療養生活などで、不安を感じている方へ」

医療福祉相談室では、病気によって生じる種々の問題を、患者さまの立場に立ち、患者さまが解決するお手伝いをしています。

例えば、医療費に関して様々な公的な施策や手続きのご案内をしたり、療養生活を取り巻く不安の解消に向けての話し合いを行ったり、リハビリの病院を紹介したり、長期療養型の医療機関を紹介したりしております。

在宅での生活をよりよくするためにベッド等、福祉用具のレンタルや介護ヘルパーの派遣、訪問医、訪問看護など地域のサービス機関や行政と連携し、介護保険制度や医療保険制度を活用し、在宅生活のサポートをきることにお手伝いしております。

5月からのフルオープンに向け、更なる患者さまへのサービスの充実に努めていくつもりです。

どうぞ、ご予約の上、お気軽にお訪ねください。



柴田 礼子

薬剤科

開院後半年が過ぎ、薬剤科のスタッフもようやく難しい電子カルテに振りまわされずに業務がこなせる様になって来ました。

現在薬剤科では、院内調剤、製剤、I V Hの調整、外来化学療法における抗がん剤の調製、病棟一般注射薬の取り揃え等の業務を、9名のスタッフで対応しています。



工藤 真琴 宮本 由紀子 石川 達也 岡崎 千絵 木村 洋子
下嶋 和代 本加 澄江 森本 景子

これらの業務以外に医薬品の情報収集と院内への提供、薬品請求、各種委員会への参加、合同カンファレンスの施行と、たくさんの方に精一杯頑張っています。

今年は、病棟に薬剤師を配置し薬剤管理業務を開始すべく準備を進めています。病棟の規模は400床と中規模であり、スタッフとの連携もとりやすく理想的な病棟活動が出来ることを期待しています。4月には2名の増員も予定されており、充実した業務が出来るようスタッフ一同張り切っております。

栄養科

栄養科では患者さま一人ひとりの病態に合わせた適切な食事をお届けし、疾病の治療、症状の早期回復をお手伝いいたします。医療と食事は密接に結びついています。家庭的な雰囲気と味わいで満足して貰える調理を心がけ、原材料や調味料などを正確に計量し、精度の高い食事の提供に努めております。



鈴木 涼子 渡邊 威仁 池田 理香

また、専門職種相互の連携を深め、患者さま中心に効率的かつ効果的な業務を行い、安全で満足していただける食事の提供を第一に考え、「食に関する情報」をご提供いたします。

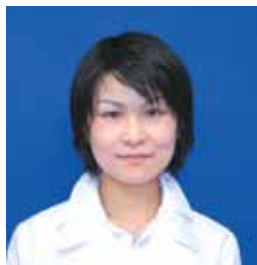
行事食の一例
(2月3日節分)





新任医師のご紹介

◎12月赴任



岸 摩紀子(脳神経内科)



小野誠吾(総合外科)



霜鳥 久(麻酔科)

◎1月赴任

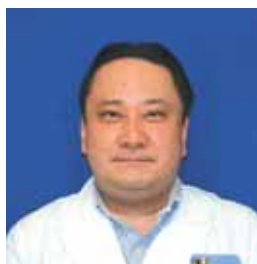


國分茂博(消化器内科)



池田啓浩(総合診療・性差科)

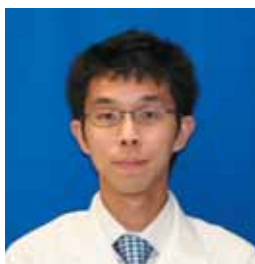
◎2月赴任



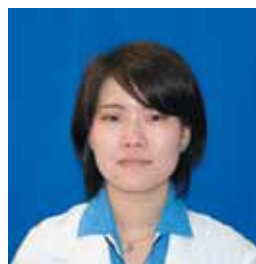
石引佳郎(総合外科)



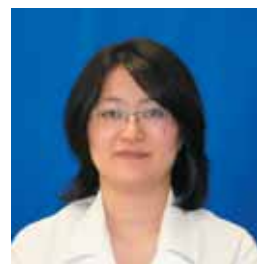
小林博仁(泌尿器科)



岩崎友弘(小児科)



丸山園美(循環器内科)



中安ルナ(産科・婦人科)



皇室に招かれ、 天皇皇后両陛下に拝謁

私が昨年10月に起きたパキスタン大地震の際、JICA国際緊急援助隊の救助チームとして現地に行ってきたことは、前回の練馬病院ニュースで報告させていただきました。さて、昨年末からJICA(代表はあの緒方貞子さん)や麻生太郎外務大臣に表彰されましたが、1月16日には皇居に招かれ天皇皇后両陛下に拝謁する機会がありました。

今回招かれたのは、パキスタン大地震で派遣されたメンバーでした。皇居内では、菊の御紋の入ったコップでジュースと、菓子をいただきながら、1時間以上にわたり両陛下と歓談させてい

ただきました。両陛下とも終始立たれたままで次々に話しかけられ活動をねぎらってください、また被災地の様子を細かく質問されました。両陛下は現地のことに大変お詳しく、驚きました。また初めてみる皇居や庭園はとても美しく、東京のど真ん中ということをつい忘れてしまう体験でした。



救急・集中治療科
杉田 学

クリスマスコンサート開催!

順天堂練馬病院開院記念のクリスマスコンサートを12月24日(土)、ソプラノ齋藤言子さん、ピアニスト宮本治栄さんをゲストに迎えて、『患者さんのからだと心の癒しを願って』2階のロビーで行いました。

当日は患者様をはじめ260名程の人で埋まり、素晴らしい歌声と華麗なる演奏は入院患者様はじめ皆さまに大変喜ばれ、まさに体と心の癒しにふさわしい2時間でした。

